

その他の継続要望	
2	上北地区統合校における専門学科としての（仮称）観光情報科の設置について
3	地域高規格道路の整備について
4	サッカー等球技専用スタジアム（J2適合）の設置について
5	周産期医療関係医師・麻酔科医の確保について
6	子ども医療費の無償化制度の創設について
7	八甲田登山道の整備について
8	奥入瀬溪流における公衆トイレの整備について
9	十和田湖・奥入瀬溪流への冬季公共交通の確保について
10	一般国道103号奥入瀬（青楓山）バイパスの整備について
11	主要地方道三沢十和田線の整備について
12	一般国道102号バイパスの整備について
13	一般国道45号及び一般国道102号の整備について
14	主要地方道十和田三戸線の整備について
15	三沢空港利用促進対策の強化について



市 精神保健福祉対策の担い手である市の保健師の専門的能力の向上を図るため、青森県立精神保健福祉センターとの人事交流、または専門の職員を本市に派遣していただきたい。

県 県の自殺対策計画では、基本施策の一つとして、市町村への支援の強化を掲げている。県では、市町村や民間団体が行う自殺対策に対する相談支援や市町村などにおける自殺未遂者および自死遺族などへの支援に対する指導を行うこととしている。県として、市町村の取り組みを支援することにより、県全体の保健師を含む支援者のスキルアップを図っていく。

3. 青森県立精神保健福祉センターとの人事交流について



▲重点事業要望説明会で三村知事や県の関係部長らに要望を説明する小山田市長

市 十和田湖畔宇樽部の棧橋に係留されたまま老朽化が進んでいる放置遊覧船4隻を早期に撤去していただきたい。

県 遊覧船の所有者である組合の解散が公表され、現在清算手続きに入っている状況である。清算手続きの進捗状況を見つつ、船舶の処分が適切に行われない場合に備えて、十和田市をはじめとした関係機関と連携・協力をして、法的措置を含めた今後の対応を検討していきたい。

1. 放置遊覧船への対応について

継続（昨年度に引き続き要望）



▲三村知事に要望書を手渡す小山田市長

市 2020年度から完全実施される小学校英語教育への支援として、小学校英語の質の高い指導を行う専科指導教員の加配をいただきたい。また、英語専科指導教員の全小学校への配置に向けた取り組みや英語の教科担任制の導入を、国に働き掛けていただきたい。

今年度は、英語教育への支援について、市長と知事が意見交換を行いました。

意見交換（フリートーク）



県 県では、市町村教育委員会の要望に基づいて、英語専科指導教員の配置をしており、引き続き、英語専科指導教員の配置の充実に努めていきたい。また、英語専科指導教員の全小学校への配置、特に小規模校においても、英語専科指導教員を配置できるように、引き続き国に要望していく。英語の教科担任制については、国の動向を注視していく。

令和2年度の重点事業を県に要望

市では、来年度、市と県、国が連携して取り組むべき事業など、新規3件、継続15件、合わせて18件の重点事業について県に要望書を提出しました。

7月29日（月）に行われた重点事業要望説明会では、小山田市長をはじめ市の関係部長などが県庁を訪れ、田中順造県議会議員、丸井裕県議会議員同席のもと、市長が三村知事に対し、特に重要性の高い新規3件、継続1件について協力を求めました。

県政策課政策企画係
☎6710

新規（新たに要望した事項）

1. 新たな外国人材の受入れについて

市 企業の人材不足を解消するため、県が主体となり、外国人材の受け入れ態勢の整備を早期に進めていただきたい。

県 県では、これまで、国内・県内人材の確保対策に取り組んできた。今後、県内における外国人材の受け入れに対応するため、外国人に対する在留資格・雇用・医療・福祉などの一元的な相談窓口について、早期の設置に向けて鋭意調整を進めていきたい。

2. 県単位での統合型校務支援システムの導入について

市 教員の負担を軽減するため、統合型校務支援システムの整備を県が中心となって取り組んでいただきたい。

県 統合型校務支援システムの導入は、教員の多忙化を解消するためのものと認識している。今年度から開催しているICT担当者連絡協議会において、システムの導入に関する状況を把握し、情報交換を行っている。今後も情報共有を進め、ICT環境整備のための支援を行っていく。